

NSF、州政府機関による研究開発支援に関する調査分析結果を発表（7月）

米国科学財団（National Science Foundation：NSF）が7月に発表した、州政府機関による研究開発（R&D）への助成活動についての調査結果をまとめたブリーフィングメモ「2009年度の州の研究開発拠出は総額12億ドルに（State Research and Development Expenditures Total \$1.2 Billion in FY2009）」によると、2009年度の州政府機関によるR&D拠出額は2007年度の11億ドルから7パーセント増加した12億ドルであり、そのうちR&D施設への投資は1億300万ドルと2007年度を2%上回ったという。

さらに、R&D拠出額の州ランキングでは、1位が1億4,700万ドルを拠出したカリフォルニア州となっており、これにニューヨーク州、オハイオ州、ペンシルバニア州、フロリダ州が続き、これら5州が州R&D拠出額総額の47%を占めている。

なお、本報告書は<<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf12324/nsf12324.pdf>>からダウンロード可能。

National Science Foundation, State Research and Development Expenditures Total \$1.2 Billion in FY 2009

[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=124920](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=124920)